

歴史の学習における論述問題作成を通じた 学習観の変容とその効果

田園調布学園中等部・高等部

坂本 登(社会科・地歴公民科)

実践背景

<背景>

- ・社会科・地歴公民科はいわゆる「暗記科目」とであるという生徒(教員も?)の認識がある。
- ・新学習指導要領では「探究的学び」に焦点が当たっているが、そもそも自分で問いを立てたり、課題意識を持ったりする訓練ができていない。
- 探究の授業だけでなく、普段の授業からの積み重ねが大切。
普段の授業の内容について、自分で問いを考えるきっかけをつくりたい。

<実践によって期待する変化>

- ・自分で問題を作成することで、作問者の立場になって学習する。
→勉強の方法(学習方略)が変わる。自分のなかで問いをつくりながら学習する。
- ・与えられた課題や一問一答だけでなく、クラスや学年で良質な問いを出し合う空気がつくられる。
- ・簡単に答えの出ない問いに対して、自分にとっての解を導く。

実践方法

- 対象学年:高3世界史(文系選択) 去年より継続
- クラス数および対象生徒人数:高3世界史(32名)
- クラスの特徴(コースや習熟度編制等):文系・上位クラス
- 実践期間:2022年5月末～

| | |
|-----------|-----------------|
| 5月末 | 自作問題演習 |
| 1学期中間試験直前 | 自作問題演習 |
| 6月 | 世界史学習に関するアンケート① |
| 7月 | 自作問題演習 |
| 1学期期末試験直前 | 自作問題演習 |
| 10月末 | 自作問題演習 |
| 2学期中間試験直前 | 自作問題演習 |
| 11月 | 世界史学習に関するアンケート② |

■実践内容

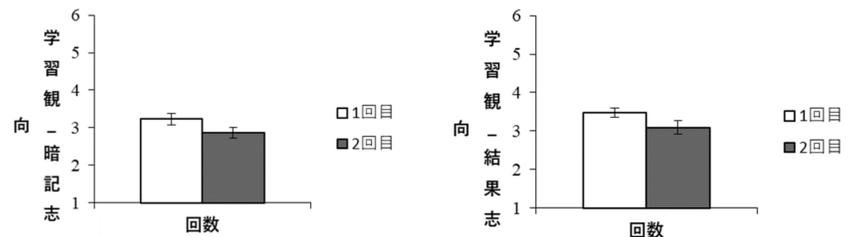
- ①定期考査直前の授業時1時間を使って試験範囲の論述問題を作成する。
- ②問題のパターンと問題例の提示
- ③作成した問題の
 - 1)問題パターン
 - 2)問題
 - 3)解答例
 - 4)解説(採点基準・解法)
 - 5)出題の意図
 をGoogle Formsに入力・送信
- ④内容をある程度整えたうえで、坂本が氏名を伏せた状態でPDF化してGoogle classroomにアップロードする。
- ⑤生徒各自で共有。
- ⑥上記の2回、アンケートを実施。

取得データおよび検証方法

- ①作成した論述問題の出来の推移 (別資料参照)
- ②定期考査における論述問題の出来の推移 (2学期中間と2学期期末)

| | 平均点 得点率 | 6割以上 得点人数 |
|----------------|------------|--------------|
| 2学期中間 11点満点 | 25% | 0人 |
| 2学期期末 10点満点 | 35% | 7人 |

- ③学習に関するアンケートからみる**学習観**や**学習方略**の変容(参考)
※データは21年度 22年度データは実施人数が少ないため割愛
高2時の2回(7月・11月)に実施

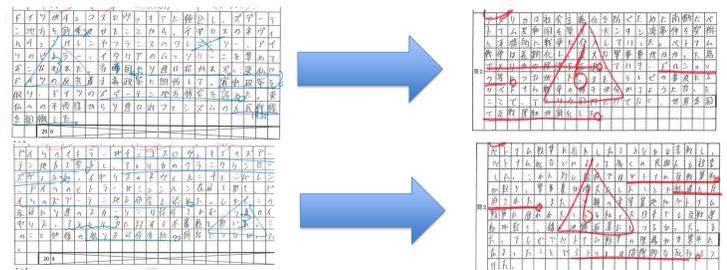


- ④2か年の模試偏差値推移(参考) ※各項目n値が少ないため

| | | 高2 | | 高3 | |
|---------------|-----------|-------|-------|-------|----------------|
| | | 11月 | 1月 | 9月共テ | 10月記述 共テ(点) |
| 平均 偏差 値 | 坂本→坂本 | 58.71 | 54.72 | 56.97 | 55.62 |
| | 他担当者→坂本 | 58.40 | 55.16 | 60.63 | 66.30 |
| | 坂本→他担当者 | 45.27 | 46.87 | 53.10 | 44.37 |
| | 他担当者→他担当者 | 45.30 | 44.60 | 53.00 | 48.05 |

結果

- ①問題形式にも徐々にではあるが工夫が見られたり、問題文そのものも題意が汲み取りやすくなってきた。
- ②実際の答案例



- ③ 21年度は「暗記さえしていればよい」という暗記志向・「結果さえよければいい」という結果志向が他のクラスに比べて低くなった(有意傾向)。
高3になって上位クラス・下位クラス分けがより明確化
+
履修者が高2時よりも減少し、データのサンプルが少ない。データとしての相関が見えにくい。

考察と今後の課題

- ◇今回の2年間にわたる取り組み、とりわけ22年度に関しては高3受験生、対象者も20名強ということもあり学力の伸びの要因との相関が見えにくいという難点があった。その意味で、検証するという点においては大いに反省すべきところがあった。
- ◇一方で、自作問題演習の内容については徐々に面白い内容になってきた生徒もいた。
- ◇いずれにしても生徒が楽しみながら取り組んでくれたらうれしい。

①論述問題とは? その種類
A. 文の長さ ~100字程度/200~300字程度/400字以上
B. 問いの内容
a. 事項解説型 「○○の事項について説明しなさい。」
b. 原因・結果考察型 「○○はなぜ○○でおこったか?」
c. 変遷・展開考察型 「19世紀から20世紀半までは○○の○○」
d. 意義・特色考察型 「○○の特徴について～」
e. 比較考察型 「国際連盟と国際連合を比較して～」
f. 総合論述型 「世界史に共通した役割について～」
②論述問題例 (①に照らし合わせて)

参考文献『世界史論述問題の解き方』(山川出版)

<問題例>
問1. 古代オリエント文明に関係する次の語句について、それぞれ80字以内で説明しなさい。
①ハムラビ法典 ②ヒッタイト人 (横浜国立大)
問2. ギリシア本土のミケーネを中心とする小王国の構造には、後にこの地に形成されるポリスと比べてどのような特徴があるか。60字以内で答えよ。
①ミケーネ文化 ②ミケーネ宮殿 (東京都立大)
問3. ヘレスティア戦争が起こった原因を60字以内で述べなさい。
①ヘレスティア ②ヘレスティア戦争 (慶応義塾大・文)